

令和8年度 動画配信による「国土計画に関する講演会」

「人口減少による影響の顕在化と国土の将来」

現行の国土形成計画（全国計画）には、地方が直面する人口減少が「暮らしに不可欠な生活サービスの利便性を低下させ、その基盤が崩壊する危機に直面する危機に直面するおそれがある」と記されていますが、すでに人口減少の影響は顕在化してきています。中でも若年層の人口減少は加速しており、それにより地方都市では将来の世代への引き継ぎが難しい状況が生まれつつあります。このような地方都市の状況を振り返り、今後の国土政策の課題を考えます。

◇講師：菅 正史(すが まさし)氏：下関市立大学経済学部教授

略歴 1977 年長崎県大村市生まれ。東京大学工学系研究科都市工学専攻博士課程修了後、同大学先端科学技術研究センター、土地総合研究所、国際東アジア研究センター（現、アジア成長研究所）を経て、現在下関市立大学教授を務める。国土審議会推進部会委員、下関市都市計画審議会会長。
著書（共著）に、「ネオリベリズム都市と社会格差」東信堂（2021 年、共著）、「都市を学ぶ人のためのキーワード事典」学芸出版社（2023 年、共著）等。

◇動画配信期間：令和8年9月25日～令和9年3月25日
（6か月限定）

◇視聴方法：講演動画及び資料は、国土計画協会ホームページ
（<https://www.kok.or.jp/>）に掲載しております。
どなたでも無料でご視聴いただけます。



一般
財団法人

国土計画協会

（問合せ）一般財団法人国土計画協会 国土計画課
大野、武藤 TEL03-3511-2187